



入場1000人目の赤ちゃん

写真はいずれも5月5日芝生広場で。  
撮影：渡邊佳視、南形徹、井口久美子



## 萌える新緑に野鳥を追って



## 親子で作って遊んでチャレンジだ



### 鳴いた、飛んだ

新緑萌える村内一帯で4月28日、バードウォッチング大会が開かれ、野鳥ファン105人が参加しました。

午前10時、4グループに分かれスタッフの先導で芝生広場を出発。「ほら、セキレイが鳴いている」「あつ、オオルリが飛んだ。キビタキもいたよ」。双眼鏡をのぞき、おしゃべりしながら、キャンプ場―堂坊池―ビオトープのコースを2時間かけて散策。「緑の中を歩くのは気分がいいですね」「毎回来ているが、仲間との情報交換が役立ちます」と中年ファン。お父さんの双眼鏡を懸命にのぞく小学生もいます。

広場に戻って、観察できた野鳥をチェックし散会しました。どのグループも20―25種ほど確認できたようです。この日は、野鳥の会の15人がガイド役を務めてくれました。＝上の写真は、ガイド役の説明で一斉に双眼鏡をのぞく参加者



村内でとらえたキビタキ④巣箱に侵入したヘビ⑤ (堀池さん撮影)

●わいわいストリートの各ブースは、昔遊び研究会・木工クラブ・うらしまたろう・ケナフの協力で開催しました。